

さくらの学舎

～学びいっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい～

発行日：令和7年6月9日（月）

発行者：校 長



☆美九里西小学校ホームページ「学校日記」では、子供たちの頑張る姿を紹介していますので、ぜひご覧ください。美九里西小ホームページQRコード→



「あいさつ」は心をつなげる大切な「一秒の言葉」

6 / 3（火）の朝礼では、全校の子供たちみんな「あいさつ」の意味について考えました。

【6年生の感想から】

- * あいさつ(一秒の言葉)は相手とつながりあえる大切な言葉。
- * あいさつをする人、される人、どちらもいい気分になるから、あいさつは大切。
- * この一秒ほどの短い言葉が、これからの人生につながることもある。
- * あいさつ(一秒の言葉)は、自分の気持ちが伝わる言葉。相手に分かってもらうための言葉。
- * 一人あいさつすると、二人うれしくなることに気付いた。



「地域でふれあうあいさつ運動」を通して考えました。

5 / 26（月）～30（金）までの5日間、東一貫校では「地域でふれあうあいさつ運動」（学校運営協議会主催）を実施しました。子供たちは各地区ごとに参加し、笑顔いっぱいで元気なあいさつを交わしました。また、PTA本部を中心とした保護者の皆様、地域の皆様（区長会、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成推進協議会、更生保護女性会）に多数ご参加いただき、本当にありがとうございました。



人として一番大切な「心」は目に見えないけれど、「あいさつ」は、「私は あなたが そこにいることを 知っているよ」「あなたは 私にとって 大切な存在です」そんなメッセージをたったの一秒で伝えて、人の心を動かす大きな力があることを子供たちに伝えました。



友達、家族、地域の方々はみんな大切な存在です。「あいさつ」を通して、人を大切に思い、気持ちのこもったやり取りができるよう、学校ではこれからも子供たちに伝えていきます。保護者の皆様、地域の皆様、今後も変わらず子供たちへの声かけ等をよろしくお願いいたします。

